大仙市立中仙小学校　学校報

# 輝く ひとみII

令和３年度 第13号
令和３年５月19日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜子どもの安全は環境づくりから＞

## 自転車乗り時のヘルメット着用について考える

先週金曜日にお届けした「輝くひとみ」に、交通安全教室について記しています。子どもの重大事故で一番多いのが交通事故。その対策として、ほとんどすべての学校で実施されています。「輝くひとみ」には２枚の写真を掲載しています。写っているのは３年生と６年生児童なのですが、二人ともヘルメットを着用しています。ここでは、そのヘルメットについてのお話です。

道路交通法第６３条の１１に「児童又は幼児を保護する責任のある者は、児童又は幼児を自転車に乗車させるときは、乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない。」と定められています。いわゆる「努力義務」と呼ばれるもので、罰則はありませんが、取り締まりの対象にはなるそうです。大仙市内の中学校では、各校の校則として、ヘルメット着用が義務付けられていて、登下校時に白いヘルメットをかぶった中学生を見かけることがあります。中学生の義務化は、ほんの３年ほど前からです。着用について市議会で質疑があり、それ以降、義務化になりました。購入の際には、市からいくらかの補助が出ています。私はかつて、岩手県の小学校に勤めていたことがあるのですが、その小学校では着用が義務化されていました。交通安全教室ももちろんありましたが、全員がかぶっての実施でした。

データによると、命に関わるような自転車事故の損傷部位は、６割が「頭」だそうです。撥ねられたり、転倒したりした場合、「頭」が傷つく場合がとても多いということです。子どもでも気軽に乗れる身近な乗り物の自転車は、「もしかしたら事故に遭うかも」という意識は薄くなりがちです。

長々と連ねてきましたが、お子さんの自転車利用時には、どうかヘルメットの着用をお考えくだされば ありがたいです。お子さんの安全・安心に向けて、ご留意をお願いします。

## ６年生　八乙女山自然観察会を行う

先週金曜日、６年生が「八乙女山を守る会」の皆様の協力をいただき、八乙女山の植生（植物の生え方や種類等）について学習しました。私は、とくに「ニホンタンポポ」と「セイヨウタンポポ」の違いや見分け方について、興味深く聞き入ってしまいました。（もうバッチリ、見分けができます）

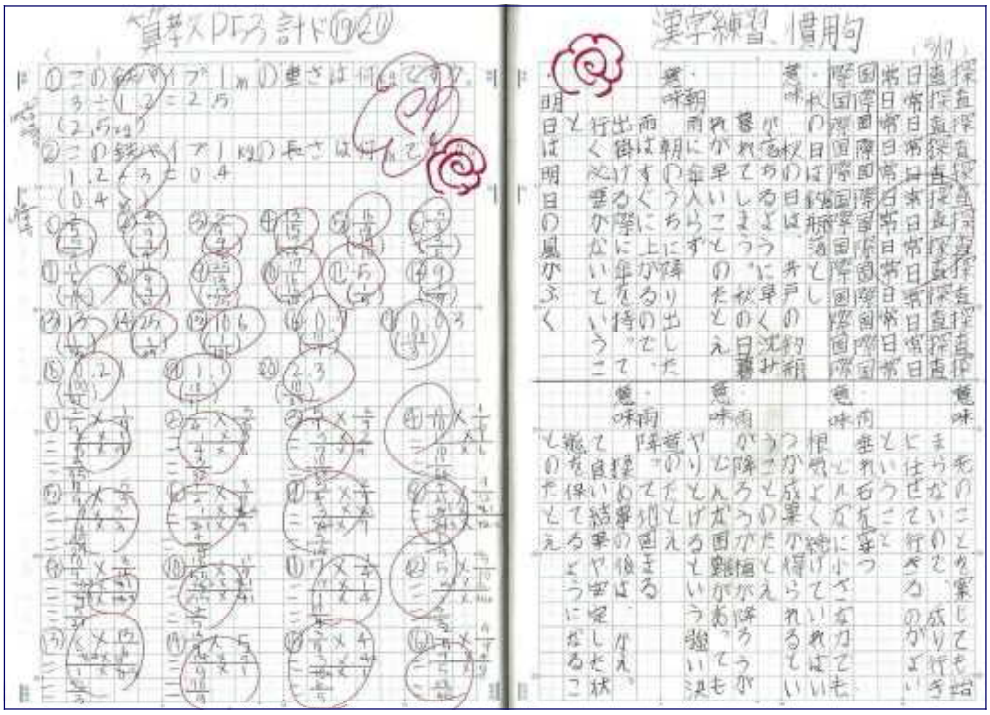
八乙女山は標高１００ｍあまりの山ですが、とても豊かな植生です。それには、どのような理由があるのでしょうか。ぜひ探ってみたいですね。

## 「園・小連絡会議」を開く

月曜日、**ワイワイらんど**と**どれみ保育園**の先生方が来校し、１年生の学習の様子を参観されました。担任の佐藤厚子教諭の指導の下、てきぱきと答えたり文字を書いたりする姿をご覧になり、その成長ぶりにビックリされていました。

学校ではこのような会を年に３回ほど開催し、子どもたちのよりよい育みのために情報交換をしています。

＜一人勉強ノートの紹介＞




六年　高橋結乃（ゆの）さんのノートです。

週に一回だけですが、一年間ずっと目を通してくると、その子その子の学習に対する意欲の具合が分かってきます。結乃さんは、どんどん上り調子でがんばり続けています。安心して任せられるノート作りをしていますね。